

4 6・警告ラベル

WARNING STICKER

1 警告 残りの薬剤や、洗浄液は自分のほ場で、 被害の無い様に処理すること。 洗浄液・容器の取扱い ●使用後の機体散布装置は、十分に洗 浄し、薬剤タンクの洗浄液は安全 な場所に処理すること。 ●空容器は、安全な場所に廃棄するこ と。	2 注意 横方向へのけん引は行なわな いこと。必ずまっすぐにけん 引すること。 17073	3 注意 安全に作業するために取扱説明書を よく読んで機械の使い方を覚えてか ら使用すること。 点検、調整、清掃時には必ずエンジ ンを停止し、キーを抜くこと。	4 警告 この機械での一般道路走行は できません。トラック等に搭 載して運搬すること。 17079
5 警告 飲料水源及び生物を飼育して いる湖沼からの直接給水は絶対 行わないこと。 注意 薬剤の取扱い注意 使用する薬剤の取扱説明書を よく読んで正しく使用すること。	6 警告 服装は、体にあったものを着用して下さい。保護衣・保護マスク・保護メガネ・ ゴム手袋・作業靴（長靴）等を用意し、 安全な服装で作業すること。 171281	7 注意 ・始業点検を必ず行うこと。 ・エンジンを始動する前に、 各部のスイッチが切れて いるか確認すること。 ・必ずHSTペダルを踏ん で、エンジンを始動させ ること。	8 警告 傾斜に対して横方向の 走行や、傾斜地での急 旋回はしないこと。
9 警告 運転中の高圧配管部 に近づかないこと。	10 警告 噴射中のノズルの下には 絶対に手足を近づけ ないこと。 171406	11 注意 高温注意 さわると火傷 をするおそれ があります。	12 警告 排気ガスは、 人体に有害で す。室内や換 気の悪い所で 運転しないこ と。 171411
13 注意 各部から油洩れがな いこと。	14 注意 ●回転物に巻き込まれるので カバーを開けたままエンジ ンを始動しないこと。 ●点検、整備するときは、火 傷をするのでエンジンル ーム内の部品が冷えてから行 うこと。	15 注意 ●走行前には駐車ブレーキを 解除すること。 ●駐車時には、必ず駐車ブレー キを掛けること。 171025	16 警告 火気厳禁 給油時は必ず エンジンを停 止して下さい。 こぼれたガソ リンは必ず拭 き取ること。
17 警告 バッテリーが破裂（爆発） する恐れがあるので、 バッテリー液量が不足し た状態で使用・充電 はしないこと。 注意 バッテリー充電、点検調整時には 必ずバッテリーコードマイナス極 を外すこと。	18 注意 1. 最大積載量（薬剤タンク満水と付属品搭載）以上は積まないこと。 2. 乗車定員は1名です。2名以上は乗車しないこと。 3. 高速走行時（副室速H）急減速は行わないこと。 4. 作業時および傾斜地走行時の変速位置は、低速側（副室速L）とすること。 5. 降坂時は必ずHSTコントロールレバーを低速側にすること。 6. 運転席から離れる時は、必ずエンジンを停止しキーを抜くこと。 7. 駐車時は必ず駐車ブレーキとタイヤ止めを併用すること。 8. 危険を感じた時は、作業を中止すること。	19 警告 トラックへの積み・降ろし時は次のことを必ず守ること。 1. 平坦地で助手の立会誘導のもとで行うこと。 2. 本機の周囲に人を近づけないこと。 3. 最大積載量1000kg以上のトラックを使用すること。 4. 積み込むトラックは、ギヤを入れ駐車ブレーキを引きタイヤに前 止めをすること。 5. アユミ板は十分な強度と長さ、板厚のあるすべり止め付きのものを 3枚使用すること。 6. アユミ板の傾斜角度は、15度以下のこと。 7. 薬剤タンク空にて、前進で積み込むこと。 8. 積み込む速度は低速の前進で行い、降ろす時は低速の後進で行う こと。 9. 途中でエンストしたときは、すぐにブレーキペダルを踏み駐車ブレ ーキを掛け、HSTペダルを踏み込み再度始動すること。 10. 積み込んだら、エンジンを停止し駐車ブレーキを掛け、指定の場所 にロープをかけ本機を固定すること。	